

公明党



伊藤 和仁議員

質問1

地方公会計制度（※2）について

浜松市や東京都のように、統一的な基準に基づく財務書類を9月議会の決算資料として提出できるようにすべき。

答弁

現在の方式では困難だと考えているが、他都市のシステムや人員体制等を研究し、早期の財務書類の作成、公表に努める。

質問2

立田山のイノシシ対策について

全国都市緑化くまもとフェアに向けて、立田山のイノシシへの効果的な防除法を含めた新たな対策を。

答弁

ICT（情報通信技術）等を活用した効果的な捕獲を検討するとともに、地元自治会等とも連携して市民との協働でイノシシ対策に取り組む。



令和自民



藤山 英美議員

質問1

本市の魅力ある学校づくりについて

国の定める適正規模に満たない学校が増加している。小中一貫校を増設し学校規模の適正化につなげられないか。

答弁

小中一貫校の導入等、新しい学校づくりは、地域の魅力向上にもつながる。教育環境の充実に向け、魅力ある学校づくりを進める。

質問2

プラスチック製容器包装への混入ごみ対策を

マイクロ・プラスチック（※3）が地球規模の問題となっている。効率的なごみ処理、リサイクルのため、分別のルールをもっとシンプルにすべき。

答弁

現行ルールを基準とし、適切な分別に取り組んでいただけるよう、様々なツールを活用し、より具体的で分かりやすい周知に努める。



自民党



高本 一臣議員

質問1

「人」に投資する本市独自の政策について

子ども医療費助成のさらなる制度の見直しは。また、さくらカードは必要な事業と認識するが、廃止はないのか。

答弁

子ども医療費助成見直しは、実績等を踏まえ、ニーズ把握等の手法も含め検討し、さくらカードは持続可能な制度とするため検討を継続する。

質問2

アーケード街での「裸火」の取り扱いについて

安全性を確保しながら一定のルールを作ってもらい、アーケード街での「裸火」の取り扱いが実現できるよう協議を。

答弁

アーケード内での裸火の使用は、安全性が確保されている場合は認めており、今後は催物の主催者等にも説明し、周知を図っていく。



市民連合



島津 哲也議員

質問1

今後の期日前投票所拡大や新たな取り組みは

今年の選挙の投票率は過去最低である。今後、投票率向上に向けた期日前投票所拡大などの取り組みはあるのか。

答弁

ショッピングセンターなど多くの方が集まる場所での投票について検討するなど、投票率の向上に取り組む。



質問2

金峰山少年自然の家の今後の方向性は

今年度早々から屋根の不具合で閉鎖されているが、建て替え、閉鎖等、今後どのような方向で考えているのか。

答弁

地元関係者や学識経験者等から多様な意見をいただきながら、本市公共施設マネジメント推進本部において、今後の方向性を定める。

自民党



古川 智子議員

質問1

学校、家庭、地域の相互理解の機会創出

学校、家庭、地域それぞれの繋がり的重要性を認識し、相互理解を深める重要性とその具体的な取り組みは。

答弁

学校、家庭、地域の相互理解は重要であり、教育目標の共有、地域ニーズの学校運営への反映、地域人材の活用等に取り組んでいる。



質問2

市役所女性職員の働く環境について

災害時、子育て世代の職員が安心して被災者支援などを行えるよう、職員の子どもの一時預かり所の設置を。

答弁

女性活躍及び次世代育成の特定事業主行動計画見直しにあたっての職員アンケート調査結果等も踏まえ、検討していく。



おしえて
ひごまる

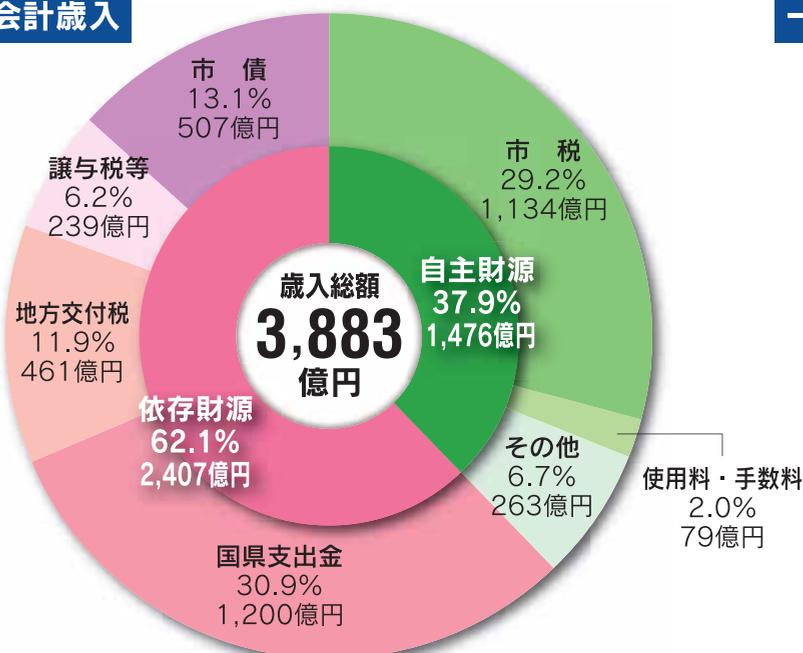
地方公会計制度（※2）

…複式簿記・発生主義を採用することで、資産・負債のストック情報等を把握し、これまでの単式簿記・現金主義による予算・決算制度を補完するもの。財務情報の分かりやすい開示や財政運営の基礎資料として活用が期待されている。

マイクロ・プラスチック（※3）

…微細なプラスチックごみ（5mm以下）のこと。大きいサイズのプラスチックが、自然環境中で破砕・細分化されてマイクロサイズになったもの等があり、含有・吸着する化学物質が生態系に影響を及ぼすことが懸念されている。

一般会計歳入



一般会計歳出

